

目標: 私たちの神は何でもできる方で、その全能の力を私たちの救いに用いられることを掴む。

聖句: 「人にはできない事も、神にはできる。 ルカ福音書18:27」

時間: 10分

道具: ホワイトボード、ペン、祈禱カード

対象者: 小6×1 小5×1 小4×1 小3×1 小3×3 小1×2 未就園児×5

留意点: 神の全能性は信者未信者の子を問わず、素通りされがちな項目である。具体例から全能性という事柄をイメージさせ、それと個々人を向き合わせた

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	イエス様にある役人が質問しました。 永遠の命を得るといことは、分かりやすく言えば救われるということです。 この役人は、守るべき掟を全部守っている人でした。 イエス様に財産を全て置いてついてきなさいと言われて、彼はとても悲しみました。 それを見て、イエス様は「ラクダが針の穴を…」と言われました。		19～23節のあらすじを述べる。永遠の命を得るには守るべきを守って罪を犯さず、イエス様に従えばよいと言われたのである。 役人の心情については、次のポイントで考えさせたので、ここでは触れないように留意する。
課題探究	6分	金持ちだと、なぜイエス様についていくことが難しくなると思いますか。  補助質問)自分がもし財産家だったらどうでしょう。  補助質問)イエスさまよりも大切なものなど本当にあるのでしょうか。  悲しみに暮れる金持ちの役員にイエス様が言われた言葉を聞きましょう。 救いがどんなに困難でも、神様にはおできになるのだとイエス様は言われました。	・誘惑が多くなる。 ・忙しくなる ・ ・自分は大丈夫。 →補助質問)なぜ大丈夫だと思いましたか。 ・ない	24・25節を読むか、そのエッセンスを伝える。「金持ちが救われるのは難しい。」「ラクダが針の穴を通るよだ。」と言われたのである。 金持ちは救われないのではない。金持ちは、「難しいと言われるのはなぜかに集中して考えさせたい。必要があれば、カーネギーなど、資産家でクリスチャンの例を挙げても良い。 色々なことを考えさせる中で、自分にも誘惑はやって来ること、それに引かれてイエス様から離れ得る自分なのだ気づかせたい。 これについては、確認しておきたいことである。なの誘惑は、他のものをより大切に思わせてくるのである必要に応じて、誘惑に遭い、イエス様から離れた実体験、聞いた話などを混ぜると現実味が出る。 無理に話をまとめる必要はないと思う。とにかく意見出させたい。 本日の箇所でお救いに関係しない事柄に向けての全能性は触れられていない。故に、救いについて神はおきになるとまとめることがテキストの趣旨に適うと思
まとめ	2分	イエス様の言葉を信じて、お友達を教会に誘ってみましょう。 暗誦聖句		182号テキスト全体のテーマからの反映として、この柄を信じて取り組ませたい。 今回の御言は、ぜひ暗誦させたい。